

## テルーの唄

詞：宮崎吾朗 曲：谷山浩子 編曲：武部聡志

夕闇迫る雲の上 いつも一羽で飛んでいる  
鷹はきっと悲しかろう  
音も途絶えた風の中 空を掴んだその翼  
休めることはできなくて

心を何にたとえよう 鷹のようなこの心  
心を何にたとえよう 空を舞うよな悲しさを

雨のそば降る岩陰に いつも小さく咲いている  
花はきっと切なかろう  
色も霞んだ雨の中 薄桃色の花びらを  
愛でてくれる手もなくて

心を何にたとえよう 花のようなこの心  
心を何にたとえよう 雨に打たれる切なさを

人影絶えた野の道を 私とともに歩んでる  
あなたもきっと寂しかろう  
虫の囁く草原くさばらを とともに道行く人だけど  
絶えて物言うこともなく

心を何にたとえよう 一人道行くこの心  
心を何にたとえよう 一人ぼっちの寂しさを

この曲の歌詞は萩原朔太郎の詩「ころ」に着想を得て作詞されました。